

# 教育通信

26年度 第2号  
通巻1824号

発行所:  
高知県教職員組合  
〒780-0850  
高知市丸ノ内2-1-10  
TEL088-822-4135  
FAX088-823-2355

全教職員  
配布  
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



## みんなで学びぼう！ 高知市教組が学級開き講座を実施

4月4日(土)に、高知城ホールでキックオフ交流会を行いました。テーマは「学級開き講座」と題して、「始業式の前にみんなで学び

ぼう」と呼び掛けました。その結果、先生になつたばかりの人・年度当初の実践に不安がある人など、全体で10名ほどの参加

交流しました。その後、学年毎のブロック(小グループ)に分かれて、それぞれ

から始まる一週間の「学級開き」で、今回の参加者が、少しでも子どもたちの笑顔を増やせる実践が出来ればと願いました。

第2回のキックオフ交流会は、「授業・学級指導交流会」と題して、6月6日(土)午後1時30分開始(高知城ホール2階)を予定しています。

ます。4月スタートから6月までのそれぞれの経験や思いを持ち寄り、学び合います。新しい視点や明日へのヒントにつながる時間になれば嬉しいなと思います。今回参加してくれた人はもちろん、参加したことがない方も大歓迎。みなさん、ぜひご参加下さい。(高知市教組)

## 5/1 高知県中央メーデー開催

1886年5月1日、アメリカのシカゴを中心に数十万人規模の労働者が、「8時間は仕事のために、8時間は睡眠のために、そして残りの8時間は自分たちのために」と訴えながらストライキを決定したのが直接のきっかけ。1889年に、国際的労働者の会議・第2インターナショナル結成大会で「5月1日を国際的な労働者の祭典に」と決定されて、第1回メーデーは、1890年に世界各地で開催されます。日本では、1920年が最初。戦争下の開催禁止期間などを乗り越えて、今年まで続いています。

0名が参加。晴天の中、参加各団体からの訴えや帯屋町のデモ行進などが行われました。



## お城下

皆さん、ゴールデンウィーク(以下GW)はどのように過ごされましたか? 今年も物価高。



まず、自己紹介をしてから、「子どもたちの最初の出会い」と題して、全体で学級開きについて話しました。

学級開きで大事にしたいことや最初の週間でどんなことを子どもたちに伝えたいのか、意見を交流しました。その後、学年毎のブロック(小グループ)に分かれて、それぞれ

高知県の中央メーデーは、今年が97回。主催者発表で約50

「国民の休日」が設けられ、現在のような最低3連休以上の形に▼さすがにGWともなれば仕事の事を忘れる日があつたと思いますが、「普通の休日」では、仕事の事が頭をよぎる人もまだまだ多いかも。せつかくの心身を休めるための時間である休日を、少しでも有意義に過ごしたいものです▼ここで大切なのは一番自分に合った方法を見つける事です▼私の場合、昼寝をする・少し豪華な食事をする・ドライブに行く等。その時に自分が一番やりたい事をする事▼みなさんも自分に合った休日の過ごし方を見つけよう。そして休み明けには子ども達や同僚に「おはようございます」と元気に挨拶してみませんか!(し)

# 声を上げることが生きる希望 あきらめずに 憲法施行79周年県民のつどい

4月25日、人権啓発センターにおいて「憲法施行79周年・県民のつどい」が開催されました。会場には190名、県内10か所のサテライト会場を含めると合計350名の参加がありました。講師には島山澄子さん(国際交流NGOピースポルト共同代表)を迎え、「世界の中の日本」地球市民として平和を考える」という演題で講演をいただきました。

島山さんの平和への意識は、高校時代のイタリア留学時に芽生えたそうです。世界中から生徒が集まる留学先の全寮制学校は、「東側と西側の高校生たちが2年間同じ教室で教育を受ければ、未来に平和が訪れるのではないか」という、教育に平和を懸けた教育者たちの理念によって作られました。そこで島山さんは戦争体験を持つ同級生た

ちと出会います。良かれと思つて企画した「戦時下体験」会で、イラクやガザ出身の同級生から突きつけられたのは、「戦争を知りたい」というのは、どれほど他人事なのか」という厳しい怒りでした。彼らにとつて戦争は過去の物語ではなく、今この瞬間に家族の命を脅かす現実でした。その経験を通して、「話してくれた人



に恥ずかしくない人の選択をしていきたい」という思いが芽生え、それが彼女の活動の原点となつたそうです。

次に、島山さんが所属するピースポルトの話になりました。ピースポルトは1983年、教科書問題を機に「現地の声を直接聴きに行こう」という活動として始まったそうです。「過去の戦争を見つめ、未来の平和を作る」を哲学に、南京大虐殺の生存者や元従軍慰安婦、さらには加害側の元兵士ら

一人ひとりの記憶や痛みに向き合つてきました。国家間の大きな物語に隠れがちな個人の人生や、戦争が残す消えない傷跡を直視することで、武力による平和を排し、人間同士の対話を通じた平和構築のあり方を問い続けています。また、被爆者や枯葉剤被害者らの「個の声」を届ける活動も継続しています。活動の核は「顔の見える国際交流」であり、旅を通じて遠い異国を「自分と同じ人間が住む身近な場所」と捉え直すことで、ステレオタイプを打破し、世界の問題を自分事化することを目指しています。こうした草の根の繋がりがこそ「平和の文化」を築き、紛争を防ぐ確かな抑止力になると話されました。

近年のピースポルトはアジア諸国からも多くの乗客を迎え、多言語・多文化な空間となっているそうです。生活習慣の違いから

生じる摩擦も、対話を重ねることで「選択肢を増やす解決策」へと繋げ、共生の道を模索していると話されました。SNS等の偏った情報で隣国に負の印象を持つ若者も、実体験を通じ「顔の見える友人」を作ることで偏見を打破している、希望が持てる経

島山さんは核軍縮・核廃絶運動にも関わっており、その活動は2017年の核兵器禁止条約採択という形で結実しました。これは被爆者や核実験被害者が、成果の見えない中でも数十年にわたり証言を積み重ね、核の非人道性を訴え続けてきた「粘り強い継続」の賜物です。島山さんは、社会を変えるには即効性を求めず、次世代のために行動し続けることが不可



であるとし、過去の日本の加害の歴史も直視した上で、対話と非戦の言論を粘りやすく積み上げ、平和への意思を示し続ける覚悟を話されました。最後には、島山さんが感銘を受けたという「平和は幻想ではない。それでも、人を信じ続ける勇氣の名前だ」(Chao Zen)という言葉を引用し、講演を閉じられました。

欠だと強調し、絶望的な世界情勢の中でも諦めずに平和への歩みを繋ぐ決意を語られました。さらに、ウクライナやガザにいる友人の苦境にも言及されました。現地から届くのは、物資以上に「世界と繋がっている」という実感が希望になるという切実な声です。これに対し、私たちが果たすべきは、不条理な現実に無関心にならず

講演の中で私の心に強く刻まれたのは、「戦争反対って言つても、何にも変わらないって言われ続けてきたけれども、声を上げることが生きる希望になっているし、自分が安全圏でそれをあきらめる選択肢はない」というフレーズです。あきらめずに声を続ける大事さを再確認し、私自身これからも声を上げ続けなければいけないと思えました。(森本真一)

# 事務職員部が県教委に申し入れ 県教委の事務に改善を求める

年度替わりを迎え、様々な仕組みの変更や改善が行われました。しかし、そのことが学校現場には十分に周知されず、学校事務職員等が困る実態が少なくない学校から報告されました。そこで、そうした実態を県教委に伝え、改善を求めるために、事務職員部が申し入れを行いました。その申し入れに基づき、4月23日(木)に、教職員福利課(2名)と県教組委員長と事務職員部(2名)により以下の4点について協議を行いました。なお、小中学校課にも出席を要請していましたが、多忙を理由に断られています。

**1. 26年度教職員旅費の配分について**  
26年度4月から、旅費の支給要件の距離規定(今までは4キロ以上に支給)がなくなりまし。したがって、近距離でも旅費が出るようになりまし。また、キ口数当たりの単価も25年度から29円が37円に引き上げられています。しかし、26年度に各学校に配分された

旅費に関する当初予算が全くとってよいほど増額されていません。これでは、25年度と同様の支給をしていたら、配分された旅費が年度途中で底をつくのは明らかです。早急な予算増額の対応を求めました。

**2. 「駐車場利用」に対する通勤手当の新設について**  
26年度から、「①校外に駐車場を借りている場合は5000円を上限に通勤手当に上乗せして支給される②公舎内に駐めて駐車場料金を徴収している場合にも支給できる」と変わりました。

ところが、これらの具体的な認定事務処理の通知文書が学校現場に届かず、4月の通勤手当の申請に苦慮した学校が多かったです。適切な事務処理を期待するのであれば、担当課としてもっと早い対応がなぜできなかったのかと、問いただしました。

**3. 加配教職員の根拠となる文書について**  
学校現場に多種多様な働き方の教職員が増えています。その雇用や身分の根拠となる規定等を早く学校に回してほしいと要望しました。26年度は、特に「課題解決応援加配」という制度が始まりました。学校現場に25年度中に下ろされた文書には、「締切は5月1日」とされています。この文書を受けて、4月1日からの着任を学校から要請され、実際に着任している人もいました。ところが、その給与などが県教委から支給されるのは5月からで、4月の給与はどこが支給するのかなど、実際の運用で支障が生じています。そこで、こうした実態も指摘し、前述の通り、学校に早く文書を回すことを求めました。

**4. 特殊業務手当(部活動指導手当)の改正について**  
26年度から、3時間以上は3900円に引き上げられました。県立学校には3月9日付で、この旨の通知文書が発出されています。ところが、小中学校にはこの通知がされていません。この点も指摘しました。

**【教職員福利課】4月中に学校に届くように今対応している。**  
なお、小中学校課は今回出席できない代わりに、文書回答するということでしたが現在(5月7日時点)のところまだ届いていません。教職員福利課や小中学校課の対応の立ち遅れが学校現場に多大な影響を与え、そのしわ寄せやひずみが来ているということが分りました。今後引き続き動向を注視したうえで

いと分からない。  
「教職員福利課」先任教職員福利課が出すわけにはいかなかった。

「教職員福利課」知事部局から通知文書が届いたのは3月31日だった。それより先に教職員福利課が出すわけにはいかなかった。

「教職員福利課」のようにしている。小中学校課にも伝える。

「教職員福利課」4月中に学校に届くように今対応している。

「教職員福利課」4月中に学校に届くように今対応している。

「教職員福利課」先任教職員福利課が出すわけにはいかなかった。

「教職員福利課」知事部局から通知文書が届いたのは3月31日だった。それより先に教職員福利課が出すわけにはいかなかった。

「教職員福利課」4月中に学校に届くように今対応している。

「教職員福利課」4月中に学校に届くように今対応している。

教職員のための自動車保険は  
**全教自動車保険**  
教職員と家族を守って36年

WEBでかんたん見積依頼

右のQRコードから見積り依頼を→



協議を行っていきたく  
いと考えています。  
(事務職員部)

**明日を拓く連続講座、開催!**  
4月17日(金)と5月1日(金)の夜、「明日を拓く連続講座」が行われました。この講座は、「採用を目指す臨時教職員を応援する」という思いの下、26年度も、教職一般教養についての学習会を行いました。長年にわたる緻密な出題分析をもとにした講座は、参加者からも大変喜ばれました。

県教委は、来年度から文科省が作成する統一の試験問題を採用する方針を発表しました。採用審査の自身が変わっていく今、この本講座のとりくみ方も考えていかなければなりません。臨教にとつて不利にならないよう、県教組・高教組は必要な運動にとりくんでいきます。

### 高知県内にある道の駅巡り ②

1	2	3	4	5
6				
7			8	9
10		11		
12				
		13		

#### 【タテのカギ】

1. もうこれ以上はないと思われる様子  
子

- 2. ゆず味のさわやかドリンク・ごっくん○○○○○
- 3. くつつきワードぴすた○○、い○○し、○○いん
- 4. 肉の焼ける音
- 5. 読めるかな、「烏夜」。闇夜のこと。
- 9. キャツサバから作る食用デンプン
- 11. 組織の中で、各人が受け持つ役目・場所

#### 【ヨコのカギ】

1. 高知市中心部にそびえるお城  
6. 昔、乗馬の武士が野外で行った演習

- 7. ○○より育ち
- 8. 自分と他人
- 10. 最も活躍した人を英語(略称)で言う
- 12. 新しい仕事等に慣れさせること
- 13. 善哉。褒め称える言葉。実は仏教用語。

#### 【3月お当選者】

「岩本(いわもと)寺」(第37番、四万十町)でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。おめでとうございます。(なお、学校名は投票時のものです。)

- 五台山ミニ88カ所さん(五台山小)

て下さい

(解答に

「道の駅」

とつける必

要はありま

せん)。

①

解答②郵便

番号・住所

③氏名(匿名

希望の方

はペンネー

ム可、ただ

し本名は忘

れずにお書

きください)

④職場名⑤

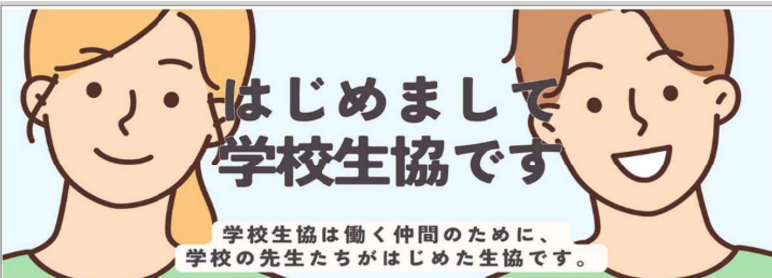
職場の話題

か教育通信

の感想、書いて

メール

## はじめまして 学校生協です



学校生協は働く仲間のために、学校の先生たちがはじめた生協です。

現在、組合員数約11,100人(現職・退職)、公立学校の8割を超える教職員の皆様にご加入いただいています。

団体で運営することによって、保険の団体割引や提携店の割引など様々な組合員特典を受けられるようになっています。

ぜひご加入下さい!

加入申込フォーム  
2次元コードをご利用ください。



職場で働く  
皆さんを応援します!!

学校生協HP

お得情報いっぱい



お酒類もご注文できるようになりました!

職場で生鮮利用ははじめませんか?  
週に1度

職場で注文・職場へお届け!

◇生協でガソリンカード作りませんか! コスモ・出光・エネオス



に登場。「ひひひひひひまままま」で表される県は? というなぞなぞ問題も飛び出し、班対抗に保護者チームも加わって盛り上がりました。子ども達の自由な発想に脱帽!

メールはこちら



みなさんの声より  
(高知工業)  
カビゴンさん(三崎小)  
タンポポさん  
○忙しいなか、若年教員をメンター会やOJで育て、さあそろそろ中心となる分掌を任せて頑張ってもらおうと思った矢先に他校へ異動する。育てた学校としては残念の極みである。○春は別れもありま

すが、新たな出会いもあります。人との縁に恵まれて、なんとか仕事をがんばれています。  
○異動発表があり、職場の20代の率が上がり、吹かせる風が、楽しみです。頼られる先輩になれるように頑張ります。  
○始業からわずか1週間、迎えた新年度最初の参観日。前日

まで家庭訪問もあり、バタバタの日程でしたが、限られた時間の中で子ども達が準備した都道府県クイズを親子で楽しみました。それぞれの都道府県の名産品等を使ったスリーヒントクイズ、1番狭い都道府県、2番目に広い都道府県、「山」の付く県名とその数などなど、工夫を凝らしたクイズが次々